

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	火災活動中の落下物
3. 体験した事例の中心的要素	一階の開口部から放水時、燃焼実体により有効な注水を行うため、火災建物へ近付いたところ、軒先部分の梁および瓦が落下した。
4. 体験した事例の原因・理由	火災により、建物の崩壊が進行していたため。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。(延焼の広がりが思ったより早かった等)
------------------	---------------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成28年6月2日 午前1時頃
2. 発生した当時の天候	曇り
3. 発生した活動現場	屋外：火災現場
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷しそうになった。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	重傷の怪我をしていた(させていた)だろう
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	飛来・落下ぶつにぶつかる
7. 事例体験時の活動	火災現場活動初期、[木造建物]
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	放水活動
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[24]歳、勤続年数[2]年、現場経験年数[2]年、階級[消防士] 同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [隊員]
○当事者B	年齢[41]歳、勤続年数[14]年、現場経験年数[12]年、階級[消防司令補] 同様の活動 [1年に数度]、任務 [車長]
○当事者C	年齢[25]歳、勤続年数[3]年、現場経験年数[3]年、階級[消防士長] 同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	後から合流した搬送隊の隊長及び隊員1名

11. 事例発生時の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A、C	ホース延長し、建物の外から屋内へ放水した	
経過2	当事者B	建物へ近づくことを指示	より有効な注水のため
経過3	当事者B	建物に近づいた	安全監視及び内部の確認
経過4	当事者A,B,C	軒下にて放水活動を実施	
経過5	搬送隊隊長	車両に施錠し、活動中の小隊に合流	活動空地がなかった
経過6	搬送隊隊長	軒先の瓦が崩れかけていることを確認	
経過7	搬送隊隊長	当事者Bに状況を報告	
経過8	当事者B	当事者A,Cに建物から離れることを指示	当事者Bも退避
経過9	当事者A,C	建物から離れた位置にて放水を継続	
経過10		軒先の瓦が落下した	
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思ふか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思ふか？

危険情報を把握、予見できた 集中力、注意力があった 避難退避がうまくいった 周囲の視界が確保できていた 現場周辺の地理を知っていた 指揮者が適切に指示した 後方からの監視の目が行き届いていた 他隊(員)との連携活動がうまくいった 他隊(員)から適切な注意を受けた

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用 방법이誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	はい
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

小隊長が内部の確認のために接近しすぎていたので、周辺への注意が不足していた。
--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

